



語字英原田 親

No. 616

2010/9/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0041 東京都中央区千代田
西船場1-1-1 第1号ビル3階日中友好協会
岡山支部
〒700-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835日中友好協会
倉敷支部
〒713-0011
倉敷市港島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

“9・18 柳条湖事件から79周年” 尖閣諸島事件の冷静な対応と平和的解決を！

9月18日、天満屋アリスの前の商店街で、日中不再戦の横断幕とのぼりを立てて、ビラまきを行いました。

拡声器で訴えながら、10時30分から始めましたが、ビラの枚数が少なく、またこの日は特に、参加者が多く、あつというまに配り終えてしまいました。参加者は、宇野、貝吹、小林、竹内、真田理事と井上、原会計監査、帰国者の山根さんと三島さんの9人も大勢でした。人数が多いと元気が出ますね。

また、井上さんと原さんの頑張りには頭が下がります。(真田)



岡山・倉敷で街頭宣伝

岡山支部・倉敷支部



9月18日日中友好協会倉敷支部では、大森支部長以下6人の役員が倉敷駅頭で9・18それはなんの日?」のビラを配り、日中友好を訴えました。

土曜日の午前中とあって、倉敷駅頭は観光目的の乗降客も多く、他団体からの宣伝もありました。また、最近の尖閣諸島周辺での日本の巡視艇と中国漁船の衝突事件も反映し、ビラを受けとった人の中には「尖閣列島の衝突事件はどうなんだ?」と心配顔で尋ねる姿もありました。

これに対して宣伝隊は「中国と日本はお隣同志なので、いろいろ問題も起こるが、どんな場合でも冷静な対応と平和的に話し合っ解決することが肝心。過剰な反応は避けて日中友好を貫きましょう」と心から訴えました。道行く人も納得されたようすで立ち去られました。また、県外からの観光客には倉敷の道案内などして喜ばれました。

会場いっぱいの五十余人

倉敷支部・第四回中国問題文化講座

9月12日、倉敷市民会館第4会議室で開かれた日中友好協会倉敷支部の「第4回中国問題文化講座」は、参加者が五十余人で、会場いっぱいになる盛況でした。この回は倉敷市と倉敷医療生協が後援しました。

元ノートルダム清心女子大学教授の南智先生をお招きして「岡山県の満蒙開拓」と題してお話を聴きました。満蒙開拓」は先生の研究分野で、すでに友好協会の季刊「中国」誌にも青少年義勇軍についての報告が載っています。それだけに話が核心にはいると参加者はぐいぐいと話に引き込まれ、大きな感銘を受けました。

岡山県の満蒙開拓は昭和六年の満州事変にさかのぼり、昭和九年の第3次移民からはじまります。そして戦争末期までには2858人が移民に加わりました。移民目標を達成するために、岡山県

では浅口郡大島村を二分し、なかば強制的に移民させる「分村移民」政策もとられました。

また、岡山県は満蒙開拓青少年義勇軍」では、長野県、広島県とともに全国で三大送出県となりその数は2703人に達しました。青少年義勇軍は、成人が兵役にとられる中で小学校高等科卒の15才や16才の少年に侵略の片棒をかつがせました。そして、戦争の終結にあたっては満蒙開拓を推進した関東軍や国からも見放され、飢餓と悪疫のなかを逃げまどう状態に放置されました。

南先生は「学校教育と義勇軍の関わりは深い」と当時の教育の責任を強調されました。当時は義勇軍を出せないような教育は日本の教育ではない」と「興亜教育」の実践が叫ばれ、子どもたちを侵略戦争に駆り出した教育の戦争責任があらためてすく問われました。

「満蒙開拓」とは?

1931年(S. 6年)、関東軍による計画的な謀略で、奉天の近く柳条湖で鉄道が爆破され、満州事変が起こされました。その翌年にはカイト「満州国」が建国されました。この「満州国」を維持・防衛するために、主として軍事目的で満州移民が計画され、それはあわせて国内の農村窮乏対策とされました。

「満州」に送り出された移民の総数は、約30万人に達したが、成年男子は徴兵され、ソ連の参戦によって壊滅した。残った婦女や子どもたちは逃げまどい多数の中国残留婦人や孤児たちをつくりだした。

しかし、この「満蒙開拓」によって一番被害を受けたのは、中国の現地農民たちだった。関東軍の武力を背景に一戸五円の値段で追い立てられました。(五円は当時の一ヶ月の生活費でした。昭和8年当時の大工の手間賃一日2円でした)。満蒙とは満州とモンゴルの略です。

第35回中国料理教室

28人の参加で楽しく



9月12日、日中友好協会岡山支部主催の第35回中国料理教室が岡輝公民館で28名の参加で開催されました。

今回は、馬小菲さんを講師に内モンゴル地方の家庭料理(えのきの和え物(凉拌金针菇)(リアンパンチンチェンクウ)・なすとジャガイモとかぼちゃの煮物(炖茄子)(トウンチアズ)・豚肉の蒸し物(扣肉)(コウロウ)・中華ナンの巻物(単餅巻菜)(タンピンチュアン)を作りました。

参加者のほとんどが、中国語

講座の受講生など馬老師の脈による人々で、半数以上が初めての参加です。

教室は、馬さんの流暢な日本語でレシピの説明があり、西森料理教室担当理事の水を得た魚のような的確な仕切り、さらに馬さんの弟と従姉妹の協力により順調に進みました。出来立てはやほやの料理を美味しくいただきました。

この間に、真田副理事長より「日中岡山は、中国語講座以外にも料理教室、太極拳など楽しい行事を行い、日本と中国の友好のために活動している。」と話し、合わせて今年創立60周年になることを紹介しました。西森理事から次回の教室は、2月の春節のころに黄艶萍さんを講師に開きたいとの報告がありました。

日中岡山太極拳

高齢者福祉施設の夏祭りで大好評!

8月29日私の勤める福祉施設の夏祭りに太極拳の仲間3名とともに参加しました。

風華太極拳(日中友好協会オリジナルの狭い場所でも出来る簡化24式太極拳)と太極功夫扇を表演しました。風華太極拳について、施設の人たちには

「あつたりしてよかったです。」あの曲は聞いているだけで癒される。」と大好評でした。覚えてたの太極功夫扇は、本番ではBGMの音が出ないというハプニ

太極拳指導員 岡田 民



中国・四国ブロック中国帰国者支援者研修会への参加について

岡山市帰国者支援相談員 黄艶萍 2010年9月14日

中国・四国ブロック中国帰国者支援者研修会を中国・四国帰国者支援・交流センターが主催、広島県社会福祉会館で9月10日～11日の二日間行われました。参加者は、広島県、島根県、鳥取県、岡山県、香川県、高知県、徳島県、の7県から

の帰国者支援者計40名。それ以外に、厚生労働省の社会・援護局援護企画課中国孤児等対策室地域支援係長大石孝善さん及び広島県・高知県の行政

に関わる職員4名も参加されました。今回の会議について、以下三つの部分から紹介していきます。(1)会議の目的(2)会議の内容(3)今後の課題

1、会議の目的

中国・四国ブロックの各県と関係市町村において中国残留邦人が安心した生活が送れるように支援するため、支援相談員を設置し、また、生活支援の一端として自立指導員、自立支援通訳などを派遣するなど、より細かな支援を行えるような体制が整ってきた。しかし、居住地域や支援者の経験の差などで、地域により支援に偏りが生じている。この研修会を通じて、中国残留邦人への支援をより充実させるための情報交換や今後の課題について理解し、連携を深める。

2、内容

本日目録

(1) 厚生労働省による行政説明

(2) 中国帰国者に対する支援策の動向について

(3) 帰国者の体験発表

(4) 自立指導員による体験発表

(5) センター授業見学

(6) グループ別意見交換会

(7) 意見交換会まとめ

(8) 質疑応答

3、今後の課題

交流の場で、皆さんが日ごろの仕事で感じたこと、今はまだ解決できていない問題視されていることを議論しました。

(1) 介護の問題

帰国者1世が高齢になってきて介護の問題が深刻化してきています。しかし国の対応はまだ不透明であります。国としての仕組みを作ってほしいという帰国者の要望を行政の方々に伝えあげました。

(2) 日本語の問題

帰国者の中では、日本語がなかなか上達しない、日本語がで

きないので閉じこもってしまったり、心の病気になってしまったり

などいろいろ悩みがあります。これに関しては、日本語教室や、地域生活支援や、行政サービスなどにより一層充実していくと合意しました。そのほか、

本人の勉強意欲を起すため、

われわれ支援者の熱心な指導も必要だと。

(3) 2世、3世の就労問題

就職難になってきている日本社会で、2世、3世にどうやって支援してあげるかについても議論しました。就労に必要な技能、日本語能力の習得、情報提供など主に3つの面の支援を充実していくという結論になりました。

カレンダー購入の申し込み先

- ☆ 日中友好協会 岡山支部
電・FAX 086-272-3010(竹内和夫方)
電・FAX 086-277-2470(小林軍治方)
- ☆ 日中友好協会 倉敷支部
電・FAX 086-446-2711(宮地義男方)
- ☆ 総社日本語教室 事務局
電・FAX 0866-99-2650(西森文子方)

次回の新聞発送作業は10月1日(金)午後1時半～民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹内和
小内袈
竹内井
坪